

宣言書

われらはここにわが朝鮮国が独立国であること、および朝鮮人が自由民であることを宣言する。これをもって世界万邦に告げ、人類平等の大義を克明し、これをもって子孫万代におしえ、民族自存の正当なる権利を永遠に有せしむるものである。半万年の歴史の権利によってこれを宣言し、2千万民衆の忠誠を台わせてこれを明らかにし、民族の恒久一筋の自由の発展のためにこれを主張し、人類の良心の發露にもとづいた世界改造の大機運に順応し、並進させたにこれにこれを擧起するものである。これは天の明命、時代の**大勢**、**全人類の共存**、**同生の権利の正当な發動**である。天下の何ものといえどもこれを抑制することはできない。

旧時代の遺物である侵略主義、強権主義の犠牲となつて、有史以来千年をかきね、はじめに興民族による箝制の痛苦を嘗めてからここに10年が過ぎた。われらはわが生存の権利をどれほど剝奪したであらうか。精神上の發展にどれほど障礙となつたであらうか。民族の尊嚴と栄光をどれほど毀損したであらうか。新鋭と独創によつて世界文化の大潮流に寄与、補裨できる機縁をわれらはどれほど遺失したであらうか。

ああ、旧来の抑鬱を宣揚せんとすれば、時下の苦痛を擺脫せんとすれば、將來の脅威を芟除せんとすれば、民族の良心と国家的廉義の圧縮、銷殘とを興起、伸張せんとすれば、各個人の人格の正当な發達を遂げんとすれば、隣むべき子弟たちに苦恥的な財産を遺せざらんとすれば、子々孫々永久、完全な慶福を尊迎せんとすれば、その最大急務は民族の独立を確實なものとすることにあり。2千万人民のおのおのが方寸の刃を擧げ、人類の通性と時代の良心が正義の軍と人道の竿戈とをもつて援護する今日、吾人が進んで取ればどんな強權でも挫けないものがあるか、退いて事をなせばどんな志であれ、のばせないことがあるか。

丙子〔日朝〕修好条規以来、種々の金石の盟約をいつわつたととして、日本の信のないことをとがめようとするものではない。学者は講壇で、政治家は實際において、わが祖宗の世業を植民地的なものとみなし、わが文化民族を野蛮人なみに遇し、もっぱら征服者の快楽を賣つてゐる。わが久遠の社会の基礎と卓越した民族の心理とを無視するものとして、日本の少義を賣めんとするものではない。自己を策励するのに急なわれわれには、他人を怨みとがめる暇はない。現在を綱纏するのに急なわれわれには、宿昔を懲弁する暇はない。今日われわれがなさねばならないことは、ただ自己の建設だけである。決して他を破壊するものではない。蔽蔽な良心の命令によつて自家の新運命を開拓しようとするものである。決して旧怨および一時的な感情によつて他を嫉逐、排斥するものではない。旧思想、旧勢力に束縛され日本の為政者の功名心の犠牲となつていゝる、不自然でまた不合理な錯誤状態を改善、匡正して、自然でまた合理的な正統の大原に帰せようとするものである。当初から民族的要求としてだされたものではない両国併合の結果が、畢竟、姑息的威圧と差別的な不平等と統計数字上の虚飾のもとで、利害相反する両民族間に永遠に和合することのできない怨恨の溝を、ますます深くさせている今日までの実績をみよ。勇明、果敢をもって旧來の誤りを正し、真正なる理解と同情とを基本とする友好の新局面を打開する

ことが、彼我の間に禍いを逃さず、祝福をもたらす捷徑であることを明知すべきではないか、憤りを含み怨みを抱いている2千万の民を、威力をもって拘束することは、ただに東洋永遠の平和を保障するゆえんでないだけでなく、これによつて、東洋安危の主軸である四億の中国人民の日本にたいする危懼と猜疑とをますます濃厚にさせ、その結果として東洋全局の共倒れ、同時滅亡の悲運を招くであらうことは明らかである。今日わが朝鮮の独立は朝鮮人をして正当なる生活の繁栄を遂げさせると同時に、日本をして邪道より出でて東洋の支持者としての重責を全うさせせるものであり、中国をして夢寐にも忘れえない不安や恐怖から脱出させせるものである。また東洋の平和を重要な一部とする世界の平和、人類の幸福に必要な階梯となさしめるものである。これがどうして区々とした感情の問題であらうか。

ああ、新天地は眼前に展開せられた。威力の時代は去り道義の時代がきた。過去の全世紀にわたつて鍊磨され、長く養われてきた人道的精神は、まさに新文明の曙光を人類の歴史に投射しはじめた。新春は世界にめぐりきて、万物の回蘇をうながしつつある。凍氷、寒雪に呼吸を閉塞していたのが一時の勢いである。とすれば、和風、暖陽に氣脈を振いのばすこともまた一時の勢いである。天地の復運に際し、世界の變潮に乗じたわれわれは何らの躊躇もなく、何らの怠慢することもない。わが固有の自由権を護り、旺盛に生きる楽しみを享けられるよう、わが自足の独創力を發揮して春風に満ちた大界に民族的精華を結晶すべきである。

われらはここに奮起した。良心はわれらとともにあり、真理はわれらとともに進む。男女老少の別なく陰鬱な古巢から活潑に起來して、万民群衆とともに欣快なる復活を成し遂げようとするものである。千百世の祖靈はわれらを陰ながらたすけ、全世界の氣運はわれらを外から護っている。着手がすなわち成功である。ただ前方の光明にむかつて邁進するだけである。

公約3章

- 一、今日われわれのこの拳は、正義、人道、生存、尊榮のためにする民族的要求、すなわち自由の精神を發揮するものであつて、決して排他的感情に逸走してはならない。
- 一、最後の一人まで、最後の一刻まで、民族の正当なる意思をこころよく発表せよ。
- 一、一切の行動はもつとも秩序を尊重し、われわれの主張と態度をしてあくまで光明正大にせよ。

朝鮮建国4252年3月 日

朝鮮民族代表

孫秉熙	吉善宙	李弼柱	白龍城	金完圭	金秉祚	金昌俊	檀東
鎮	檀乘應	羅龍煥	羅仁協	梁尙伯	梁漢默	劉如大	李甲成
李明龍	李昇燾	李鍾熙	李鍾一	林礼煥	朴準承	朴熙道	朴秉
完	申洪植	申錫九	吳世昌	吳華英	鄭春洙	崔聖模	崔麟
龍雲	洪秉箕	洪基兆					

(朴慶植「朝鮮三・一獨立運動」 一部修正)